

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026 年 8 月 13 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	法学部法律学科
留学(渡航)した時の学年	3 年生
帰国年月日	2026 年 7 月 36 日
明治大学卒業予定年月	2028 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	オーストリア
留学先大学	クーフシュタイン・チロル応用科学大学(日本語名) FH Kufstein(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	ドイツ語・英語/英語
留学期間	2026 年 2 月～2026 年 7 月
留学先大学で在籍した学年	3 年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☐ 公立 ☐ 私立 ☒ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9 月下旬～2 月中旬 2 学期: 3 月上旬～7 月中旬 3 学期: 4 学期:
学生数	2200 人
創立年	1997 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (€) (1 現地通貨 = 184 円)	B 日本円	備考
授業料		0 円	交換留学のため発生なし
宿舍費	598	円	Haus D Twin
食費	646€	円	
図書費		0 円	
学用品費		0 円	
携帯・インターネット費	59.4€	円	現地インターネットを契約
現地交通費		0 円	(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		64,225 円	
旅費(留学中)		400,000 円	
被服費		40,000 円	
医療費		0 円	
保険費		56,350 円	形態:
渡航旅費		850,000 円	
ビザ申請費		8,980 円	ビザセンターにて
雑費	100€	円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	1,403.4€ (=258,226 円)	1,419,555 円	
総計(A+B) ※円		1,677,781 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地：羽田空港 目的地：ミュンヘン空港 経由地：	
復路 出発地：ミュンヘン空港 目的地：羽田空港 経由地：	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社：ANA 料金：850,000	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社： 料金： 復路 航空会社： 料金： ∴合計：	
航空券購入方法	
☐ 旅行代理店(店名：) ☒ インターネット(サイト名：ANA 航空公式) ☐ その他()	
滞在形態関連	
1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)	
☒ 学生寮(寮の名前：International Student Residence) ☐ アパート ☐ ホームステイ	
2) 部屋の形態	
☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 1)	
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)	
4) 住居を探した方法：	
大学のホームページから	
5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
私は寮の部屋の第一希望は個室でしたが、相部屋になりました。就職活動を現地で行う方は個室をまず選ばれることをおすすめします。どうしても時差の関係で夜中にオンラインで面接をしないといけない場合が出てきます。その際に周りへの音などを気にせずにリラックスして面接を受けたいなら、個室がベストだと思います。そして、最近トラブルを避けるために、同じ国出身の留学生同士で相部屋となるようにされているらしいので、他の国の方と相部屋になりたい方は、その旨を先に寮の方へメールしたほうがいいです。	

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☐ なし

☒ あり (治療を受けた場所: 現地の病院)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

外務省からのメール

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地で利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

携帯電話については、渡航してすぐ使えるように、日本にいたるうちに holafly で eSIM を 1 週間分購入しました。その後は現地の通信会社の方が安かったのも、そちらで契約しました。寮や大学のインターネットは比較的安定していたとおもいますが、突然使えなくなることもありました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードとデビットカードの両方を使っていました。基本的に VISA のカードはどのお店でも使用可能だったので、持っていると思心だと思ひます。私は半年間のみの留学だったので、現地に銀行口座は開設しませんでした。日本の銀行口座にお金は送金してもらって、支払いをしていました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

常備薬、洗濯ネット、ふりかけ、インスタント味噌汁など

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
18 単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☐ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Sensory Marketing (E)	感覚マーケティング
科目設置学部・研究科	留学生科目
履修期間	2026/3/25～5/6
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 255 分が 6 回
担当教授	Kristina Kampfer
授業内容	実際のブランドについて調べて、そのブランドが顧客の感覚にどんな働きかけをしているのかについて発表する授業です。
試験・課題等	最終プレゼンテーション
感想を自由記入	毎回の授業でグループごとにプレゼンテーションを行っていました。プレゼンテーションをする機会がとて多いので英語でプレゼンテーションをする練習がしたい方にはとてもいい授業だと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
The "Me Brand" - Influencing factor for your career (E)	私ブランド
科目設置学部・研究科	留学生科目
履修期間	2026/6/9～7/16
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 255 分が 6 回
担当教授	Bernd Wollmann
授業内容	自分をブランドとして考えて、いかに自分というブランドを他の人にアピールするのか考える授業です。
試験・課題等	最終プレゼンテーション
感想を自由記入	自分をブランドとして考える面白い授業です。先生は話すのが好きな人で、授業中よく話しています。あと、とても当てられます。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Brand Management, Commercials & Valuation (E)	ブランドマネジメント
科目設置学部・研究科	留学生科目
履修期間	2026/4/30～7/14
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 255 分が 6 回
担当教授	Giuseppe Sorrentino
授業内容	ブランドについて学ぶ授業です。最終プレゼンテーションは個人でもグループでも可能です。
試験・課題等	最終プレゼンテーション
感想を自由記入	初回の授業でコカ・コーラとペプシ・コーラを紙コップに入れて、飲んだ人がどちらがコカ・コーラか当てられるのか実験しました。実際の結果を大事にする先生なので、最終プレゼンテーションは実験結果を入れるといいと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Austrian Culture and History (E))	
科目設置学部・研究科	留学生科目
履修期間	2026/4/11～5/30
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 150 分が 2 回
担当教授	Michael Rainer
授業内容	講義＋エクスカージョン中心
試験・課題等	最終試験
感想を自由記入	オーストリアの観光名所にたくさん行ける授業です。先生が説明もしてくださるので、オーストリア観光を楽しみたい方におすすめの授業です。自由時間もあるので、校外学習中に友達とご飯を食べに行けます。試験も講義もあります。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Doing Business in Austria (E)	オーストリアでのビジネス
科目設置学部・研究科	留学生科目
履修期間	2026/3/3～7/1
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 255 分が 6 回
担当教授	Markus Mayr
授業内容	オーストリアの経済、雇用について学ぶ授業です。オーストリアの歴史についても教えてもらえます。
試験・課題等	最終試験
感想を自由記入	先生はとても優しい方です。オーストリアで実際に経営をされている方で、自分の経営するお店に実際に連れて行ってくださいます。プレゼンテーションを授業中にすることもあります。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Career Skills Lab: Emotional Intelligence in Organisations (E)	キャリアスキルラボ
科目設置学部・研究科	留学生科目
履修期間	2026/4/8～7/1
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 255 分が 6 回
担当教授	Petra Meyer
授業内容	人が働くうえで何を求めるのか考える授業です。そして、自分は働く時に何が必要なのかを学びます。
試験・課題等	講義・演習形式
感想を自由記入	基本的には講義形式ですが、オンライン課題を出されて、自習をするときもありました。最後に試験もありますが、非常に取り組みやすい授業です。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)

☒就職 ☐進学 ☐未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

3 年生からの留学だったので、サマーインターンの募集がすでに始まっていました。面接はオンラインで行っている企業もとても多いので、3 年生の夏までの留学ならそんなに就職活動について不安に思わなくて大丈夫だと思います。ただ、時差がかなりあるので夜中に面接を受けないといけない時もあります。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	TOEFL 受験
	8 月 ～ 9 月	学内選考
	10 月 ～ 12 月	協定校出願
留学開始年	1 月 ～ 3 月	留学準備・出発
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	帰国
	10 月 ～ 12 月	
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私が、このクーフシュタイン・チロル応用科学大学を選んだ理由は、治安が良くて授業が空いているときはヨーロッパ旅行をしたかったからです。実際に留学して思ったことは、非常に過ごしやすい留学先だったということです。街全体で留学生を受け入れているので、現地の人達も留学生にとっても慣れています。留学生向けのイベントも多く、他の学生と話す機会にも恵まれているのでおすすめの大学です。オーストリアの特徴として、スーパーマーケットなどが閉まるのがとても早いので、買い物などをすぐに済ませとかなないといいです。そこを含めて、スーパーマーケットもすぐ近くにあつて、大学にも近い寮に住むのが過ごしやすいと思います。しかし、すぐに部屋が埋まってしまうので、寮の申込みを開始したならなるべく早く申し込みをした方がいいです。寮の共同スペースにいたら、誰かは必ずいるので友達を作りやすいです。大変なこともあると思いますが、寮の人や大学の留学生担当の方もサポートをすぐにしてくださるので、何かあったら相談すると良いと思います。過ごしやすい場所なので、自分のしたいことに集中できます。個人的にはヨーロッパの真ん中にあるので、たくさん旅行にも行くのをおすすめします！楽しんでください。